日日本勤労者山岳連盟・静岡県勤労者山岳連盟

裾野麗峰山の会 (sine１９９４)

第２９期・０３巻　２０２３年　６月号　NO.２６２

仲間と仲間を結ぶ機関誌

すーほう

Susono Reihou Alpine Club

雪の記憶

山行 NO.2017
2023/05/02
頚城・鉾ヶ岳

１．報告・当面の予定

０４月２２日（土）会＝飛騨・乗鞍岳　２・・・三本滝から。上はカリカリ。非常に疲れた。
　　２４日（月）個＝越前岳　３・・・サンショウ採取。
　　２９日（土）会＝富士山・万年雪沢（仮称）山岳スキー・・・悪天候中止
０５月０３日（水）会＝頚城・鉾ヶ岳（柵口コース）３・・・残雪期は、二度度行きたくない山
　　０４日（木）会＝八方尾根～唐松岳　２・・・素晴らしい山
　　０４日（木）会＝神城・一夜山　２・・・超低山ハイク
　　０５日（金）個＝富士山・幻の滝　２・・・三連続登山
　　１２日（金）個＝檜洞丸　２・・・今年も素晴らしいシロヤシオ
　　１３日（土）会＝檜洞丸・・・雨中止
０５月１４日（日）県＝県連代表者会議・理事会
　　１８日（木）個＝万三郎岳　６・・・石楠花満開、素晴らしい。マル秘コース下山。
　　２０日（土）全国＝平和行進・・・午後、沼津・清水町・長泉町
　　２１日（日）個＝韓国・テミ山（681m）１・・・韓国長期出張で各所登山
　　２６日（金）～２７日（土）＝燕岳　３・・・残雪のアルプス

４．寄贈会報とピックアップ

「あしたか」　沼津勤労者山岳会　　４月号　　NO.表記ナシ　　P6　　電子版
予定＝仙丈ヶ岳、発端丈山～城山、秩父・御岳山、三ッ峠山～本社ヶ丸、松崎・トンボロ。報告＝金時山、守屋山、ほか

「あさぎり」　あさぎり山の会　　５月号　　NO.353　　P42　　電子版
報告＝達磨山～仁科峠、入間～妻良、長者ヶ岳～桜峠、天女山～三ッ頭、開聞岳、佐渡山。計画書＝長九郎山、燕岳、樹海とパノラマ台、谷川岳、塔ノ岳、半月山、白根三山、一ノ越。その他＝総会、掲示板。

「ハイキングだより」　みちぐさハイキングクラブ　４月号　NO.343　P16　電子版
報告＝米山、当間山・新緑スローハイキング、黒斑山、妙義山・ロープトレ。
３・４月山行一覧表。新入会員紹介。６月ハイク予定。
「みちぐさハイク・山の会 HP」　https://mitigusahc.fc2.net/・・・I さん、連休は、桧枝岐から台倉高山～引馬峠～黒岩山～鬼怒沼湿原を縦走。恐るべきパワー。

「甲斐峰」　山梨山の会　　６月号　　NO,313　　P21　　電子版
表紙「蝶から穂高」座学「リーダーとは何か」エッセイ「山ご飯」。登山教室「八王寺山」雀の学校「妙法ヶ岳」。記録＝西丹沢・沖ビリ沢、鉄砲木の頭～高指山、青笹山、坪山、関原峠、燕岳、須走？・立山。山行状況、山行予定多数。

「竜爪ミニ」　静岡県勤労者山岳会　４月号

当面の行事・山行予定（原則、定例ハイクは、毎月、巡礼・富士山ウオーク週がある土曜日です。諸般の事情で、予定変更あります。３月から第４週ハイクは、日曜日です）

日	曜	５月	日	曜	６月	日	曜	７月
1	月		1	木		1	土	
2	火		2	金		2	日	県連・安全講習会
3	水		3	土	アルパイン	3	月	
4	木	連休山行	4	日		4	火	
5	金		5	月		5	水	
6	土		6	火		6	木	
7	日		7	水		7	金	
8	月		8	木		8	土	
9	火		9	金		9	日	
10	水	伊豆巡礼	10	土	定例ハイク（清掃ハイク）	10	月	
11	木		11	日		11	火	
12	金		12	月		12	水	伊豆巡礼
13	土	定例ハイク	13	火		13	木	
14	日	県連・代表者会議、理事会	14	水	伊豆巡礼	14	金	
15	月		15	木		15	土	定例ハイク
16	火		16	金		16	日	
17	水		17	土	アルパイン	17	月	
18	木		18	日		18	火	
19	金		19	月		19	水	
20	土	アルパイン	20	火		20	木	
21	日	平和行進	21	水		21	金	
22	月		22	木		22	土	
23	火		23	金		23	日	
24	水	伊豆ウオーク	24	土	定例ハイク	24	月	
25	木		25	日		25	火	
26	金		26	月		26	水	伊豆ウオーク
27	土		27	火		27	木	
28	日	定例ハイク（第４週）	28	水	伊豆一周ウオーキング	28	金	
29	月		29	木		29	土	定例ハイク
30	火		30	金		30	日	
31	水					31	火	

切り抜き帳 静岡新聞から転載

富士山のガイドや歴史に理解

御殿場 国立中央青少年交流の家など

富士山須走口の大自然ガイド集団「やまぼうし」と御殿場市の国立中央青少年交流の家はこのほど、安全なガイド方法や富士山の歴史、環境などについて理解を深める合同研修会を須走口５合目で開いた＝写真＝。

毎年多くの青少年を富士山に案内する両団体が、共通認識を持って活動に取り組もうと実施した。やまぼうしは今年、富士山の世界文化遺産登録10周年で多くの登山者が予想されることから、ガイド技術の向上に力を入れている。

両団体から23人が参加し、須走口５合目から小富士（標高約1980㍍）に続く登山道を歩いた。周辺の神社や信仰の歴史、過去の富士山噴火における溶岩流の流れ、周辺の植生などに理解を深めた。登山の序盤はペースを落とすことや、危険箇所は登山者をせかさないよう十分な配慮が必要なことなどガイドの基本を再確認した。

砂れき地帯の歩き方のコツを学びながら、富士山の雪解けがピークになる時期にのみ見られる「まぼろしの滝」も見学した。

5/7

両脚切断で最高峰登頂

ネパール出身の元英国兵士で、両太ももを切断していた登山家ハリ・ブダ・マガルさん(43)が19日に世界最高峰エベレスト（８８４８・８６㍍）登頂に成功した。ネパールの観光当局者が21日、明らかにした。義足を使用したとみられる。登頂後「どんなに困難な障害があろうとも、志さえあれば何でもできる」と語ったという。

ネパールメディアなどによると、両太ももを切断した人のエベレスト登頂は初めて。

マガルさんは英国の雇い兵グルカ兵として２０１０年のアフガニスタン従軍の際、道端に仕掛けられた爆弾で両脚を太ももから失った。除隊後は障害者支援の啓発活動などに従事。エベレスト登頂を長年目指してきた。

過去には膝から下の両足を切断した登山家が登頂に成功した例がある。（ニューデリー共同）

5/23

1966/08　転付峠付近
手前から、瀬戸・渡辺・井上茂
貴・後藤・井上国利

しかし、一口に 2000 回といっても改めて半端ではないと感じた。現在のように、土日・祭日が休みなら、年間 50 日は可能。それでも、500 回は 10 年、1000 回は 20 年必要。

昔は、休みは日曜日だけ。連休はなかなか取れず、大きな山は会社を休まないと行けなかった。勢い「アイツは会社をサボって、山ばっか（し）行っている」と白い目で見られた。当然、昇給・昇進の査定は悪かった。それでも悔いはなかった。

しかし、結局、私は会社勤めをしながら、登山・スキーでヨーロッパ・アルプス２回、登山でヒマラヤに行った。仲間・会社には迷惑を掛けたと思う。

http://susono-reihou.babyblue.jp/page116-41.html
http://susono-reihou.babyblue.jp/1-17.pdf
http://susono-reihou.babyblue.jp/1-31.pdf

北アルプスなど遠路の山は、会社から山の格好と荷物で御殿場線・下土狩駅に行き、沼津駅から東海道線で富士駅に着き、身延線 19:00 最終電車に乗って甲府駅着だった。従って当時は、乾徳山・大菩薩など日帰りは出来なかった。一泊である。

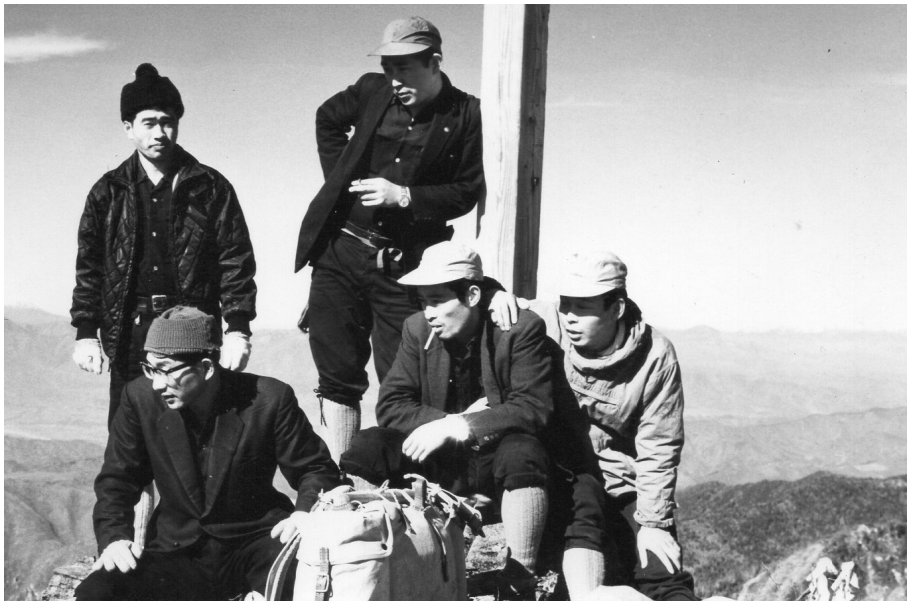
今では、下山後温泉付き。時代は変わった。しかし、同時に失ったものもある。連休は中部・東部の岳人が最終電車の乗り合わせ、交流し人脈が出来たが、車時代到来で霧散した。甲府駅のいわゆる「ステーション・ホテル」に何回も泊った。

移動の電車・バスは、兎に角、時間が掛かった。前述の丹沢など東丹沢はまだ良いが、西丹沢の沢日帰りは難しかった。従って、バイクで何回か行ったこともある。バイクは、荷物が重いのと雨には参った。

電車・バスは、長い山行で荷物が大変。スキーは、電車移動で板は邪魔者。スキーを網棚のネットに下げたことが懐かしい。あの風景は壮観だった。それと何処かのオバサンが「何処に行った、何をした、どうだった」と質問攻めで閉口したものだ。

■

1976 年 11 月（NO.0026）で南ア・鋸岳～甲斐駒をやった。初めてのアルプス縦走・山中泊だった。角兵衛沢を上り、石室（？）で一泊。テント天井に干した靴下が鍋の中に落ちてしまったが先輩たちは、「どこ吹く風」で食べていた。



1967/11　鋸岳・第一高点
前列・左から、井上（茂）・井上（国）・後藤
後列・左から、鎌野・瀬戸

黒戸尾根の紅葉が素晴らしかった。何枚か拾って手帳に挟んだ。
1968 年になった。私は 21 歳だった。次第に大きな山を希望した。しかし、職域山岳会は限界があった。同じ会社で徒党を組んでの入山は無理があった。

■

6 月、NO.0039 で、初めての北アルプスで槍ヶ岳に入った。まだ、梓湖が無い時代で、延々と梓川をバスに揺られた。初めての北アルプスは、見るモノ聞くモノ全てが新鮮だった。
槍沢は雪が多かった。殺生ヒュッテに泊った。槍の上りで、何処かの女子大生に「大きなバケツ」（ピッケルで掘った足場）を掘って上げて大いに喜ばれた。
しばらく「文通」（今は死語？？）した。妙高にスキーで入った写真は頂いた。しかし、それ以上の発展はなかった。後列右はリーダーの「フルヤさん」でキレイな方だった。今もお元気だろうか？？

（つづく）

1968/06　槍ヶ岳山頂

第５７期（２０２３年度）第２回理事会　　２０２３年5月１４日

於　長田生涯学習センター

伊豆ＨＣ労山会員Ｇ（野口濶資）	○	清水労山（千葉洋己）	○	山登歩（花澤秀治）	○
（竹端節次）	欠	静岡労山（原田信義）	○	（周防紀一郎）	○
三島労山（平野悟）	○	（森下栄治）	○	ＮＭＣ（海野美春）	○
裾野麗峰・ふじ山楽歩（加藤秀子）	欠	安倍っ子（竹本幸造）	○	（森　英代）	○
沼津労山（大村　忠義）	○	（村山俊一）	○	浜松労山（後藤秀人）	○
あさぎり（富永政則）	○	焼津山の会（山崎勝治）	○	フレンズ（小平悟一）	○

１　各ブロックからの報告

○東部ブロック

ブロック交流会を乗鞍で、秋に実施予定。

清掃ハイクは各会で実施予定。伊豆 HC 労山 G は１０月実施。

平和行進　１９日引継ぎ式、その後も行進に参加

名刺サイズで QR コード付きのものを作りたい

搬出訓練　１１月ごろ予定

安全登山講習会の参加を一般の方にも伝えていく

○中部ブロック

２か月に一度ブロック会議実施予定

ふれあいハイク　　１０月２２日

雪山ハイク　　２月４日

ブロック山行は検討中

県連交流ハイクの担当　１月１４日　野田山付近で検討中

２　各専門部からの報告　連絡等

〇組織部

今年もアンケートを実施する予定。配信したら記入をお願いします。

○教育遭対部

春山山行報告（別紙）

○自然保護部

全国一斉清掃登山計画、実施報告の締め切り等について・・・自然保護部より配信あり

（５・１６）　アピール文（別紙資料）

３　県連関係　行事等

〇 平和行進　５月１９日から３１日・・・・(5/２０,東部・野口さん報告ありました)

〇安全登山講習会・・・７月２日（日）長田生涯学習センター　（８０人）

講演　野口いづみ氏

１２：４５～準備　　受付　会場整備（椅子の設置　横幕　マイク等）

１３：００　開場

１３：２０　開演

１３：３０～１５：３０　　講演（含質疑）

＊講演内容の希望　　（ex:事例を入れながら話してほしい　熱中症　コロナとか）

役立つ装備（転倒して出血時など）。

薬を飲んでいる人（ex 血液サラサラにする）が怪我をした時の対応。

今月中に海野まで連絡を! info@umknet.jp

４　全国連盟関係（別紙資料）

全国組織担当者会議	６月 10 日（土）～11 日（日）　福岡県立社会教育総合センター
全国自然保護担当者会議	６月 17 日（土）～18（日）埼玉県秩父郡「長瀞荘」

全国救助技術交流集会	７月８日（土）～９日（日）　北海道小樽市
全国ハイキングリーダー学校	９月 30 日（土）～10 月１日（日）　奈良市
若手クライミング講習会	９月 30 日（土）～10 月１日（日）　長野県小川山
全国登山学校担当者交流会	10 月 21 日（土）～22 日（日）　栃木県宇都宮市 古賀志山

労山基金【担当者向け】オンライン実務説明会 ZOOM を利用した WEB 会議 （一般会員向けは７月５日１９：００～） *質問が出た、担当者、一般向けの違いについては配信済み。静岡労山からの依頼も連絡済で、返事待ちです。	6 月 28 日 水曜日 19 時~20 時 30 分 申込期限 2023 年 6 月 18 日まで 近年の労山基金の改訂点、登録実務のポイント、事故があった時の手続き等
MFA プロバイダー養成講座 ＊全国連盟 HP より要項を配信済み	６月 25 日（日）　10 時～17 時 日本勤労者山岳連盟・事務所
２０２４年労山カレンダー写真募集中	６月２６日締め切り

５　連絡等

リニア講演会・・・６月２４日（土）１３：３０～１６：００　ロッキーセンター（旧労政会館）

南海トラフ地震でリニアはどうなる？　講師　石橋克彦氏（神戸大学名誉教授）

南アルプス写真展・・１０月３１日～１１月６日　静岡市市民ギャラリー

財政・・今までのお金の流れの報告

シカの食害がひどい！！県内の状況の把握をしたらどうか。県内の山に行って気が付いたことがあれば、写真を付けて報告を。自然保護部長が集約する。必要なら行政にも。

南アルプス高山植物ボランティアネットワーク総会５月２７日　　参加協力依頼があれば伝える。

QR コード付き名刺版チラシ・・・見本を作成してみます。

南アルプス写真展の写真を安全登山講習会の時に会場隣の部屋に展示。ご協力を。

次回理事会は７月２日（日）　９：３０～１１：３０　　長田生涯学習センター　第２集会室

各ブロックからの報告・各専門部からの報告

平和行進参加者把握　清掃ハイク報告　安全登山講習会

１月交流ハイクの計画　カレンダー申し込みと配布方法

南アルプス写真展連絡　　自然保保担当者会議報告等

１１：４０～１２：４０昼食　休憩

講師のお迎え　１２：４５～　安全登山講習会準備　　机　椅子の増設　マイク等準備　必要機材準備、受付準備（加藤　森）参加者数の把握、写真展示準備　　以上

緊急レポート

「どうする、労山カレンダー」

後藤隆徳

今年も、来年「労山カレンダー」写真募集が始まった。以前から、分からなかったが、「労山カレンダー」は、月曜日始まり。世間一般は、概ね日曜日始まりですが、何故なのか、その辺の事情を全国連盟に聞いてみた。

川嶋理事長・・・お問い合わせありがとうございます。月曜始まりは土日を行替えしないために行っています。全国連盟をはじめ地方連盟や各会・クラブの行事・山行計画は大半が土日に行われています。離れていると見難く不便です。基本的に一週間の始まりは月曜日です。日曜始まりはキリスト教の影響でキリストが復活した日曜日を週の最初にして安息日としたからです。

これが世界中に広がり、日本でも大半がキリスト教徒でもないのに日曜始まりにしてしまっただけです。明治初期の日本は農業国で晴耕雨読、仕事に曜日は関係ありませんでしたが、戦後はサラリーマンが増え土日の週休二日が定着しています。

ビジネス手帳などは大半が月曜始まりになりました。しかし、個人一人しか見ない手帳はあっという間に変わりましたが、大勢の人が見るカレンダーは、多数にしたがうことが好きな国民性なのか？日曜始まりのまま残っています。

これを全国労山としては土日に山行計画を記載しやすい月曜始まりにしました。登山界だけでなく一般社会にも広げていきたいと考えています。

静岡県連皆様のご意見・・・

Mさん＝会員にも聞いてみます。

Ｉさん＝説明はいりません。普通のカレンダーの様に日曜日からの始まりでいいのです。雑学、うん蓄はいいのです、使い慣れてる方が便利です。

Ｔさん＝私は月曜始まり賛成です。キリスト教が云々はどうでも良くて、使い勝手は月曜始まりがいいと思います。土日が繋がった方がいいというのであれば 土日 始まりということもう考えられますが、土日につなげるとしたら 金曜日から繋げることが多いと思うので やはり 月曜始まりの方がいいかもしれませんね。

Ｅさん＝月曜始まりで注文を辞めた人もいました。個人的には写真を眺めるので、月曜始まりでも気になりません。今年も採用は無理でも応募したいと思っています。

Ｉさん＝ やはり、日曜日はじめの方が分かりやすいです。

Ｇさん＝慣れた日曜日が良い。賛否両論ですね。出来れば、両方併記でイイ方を選んでもらうのがベストですが、それは無理か。

なら、ちゃんと、多数決で会員が「良い」と思うものにすべきです。それが、当たり前です。

Ｙさん＝月曜日で良い。敢えて言えば、私の生活習慣の中で日曜日はじまりのことがないからです。土日は週末として一括りの休日なので、その感覚に合っている方が見やすいということが理由になります。

Ｉさん＝日曜日で始まるのが慣れているので見やすいです。土曜日を青色、休日を赤色で太文字でにすれば見やすくなるとおもいます。今年のカレンダーは見るたびに考えてしまいます。

Ｎさん＝労山本部には現状で良いが１名、日曜からでないので労山カレンダーは購入しない、今年見やすい所に置いたところ曜日と日にちを誤解することが２回ほどあり、写真は良いがカレンダーとしては使えない。という内容で回答しています。
私は使い慣れている日曜日からに変更して欲しいと思っています。

Ｓさん＝私は単純なのでほかのカレンダーと同じの方が使いやすいです。つい、間違えてしまったこともあります。

Ｅさん＝川嶋理事長の論については、至極最もなことだと納得もします。但し、カレンダーを見るのは日常の事なので、慣れ親しみが使いやすさに直結します。
私事ですが、カレンダーは、私の部屋、食堂、寝室、玄関と４か所に置いています。食堂の労山カレンダー以外は全て日曜始まりです。
食堂にある「労山カレンダー」を視ることが一番多いのですが、それでも未だに違和感を覚えるのは年寄りの保守的な頑迷さでしょうか！
月曜始まりも、慣れれば何という事もない些細なことだと思いますが、許容応力の狭い年寄りにはやはり見慣れたものに親しみを感じます。日曜の赤文字が左端に、土曜の青文字が右端に並んだカレンダーはバランスが良くて上部の写真や絵と良く呼応するようにも思えます。

Ｉさん＝仕事でもないし、会社でもないので、１００人いれば１００通りの考え方があるでしょう。

まとめ

昨年、初めて「労山カレンダー」の写真に応募し採用されました。改めてカレンダーを眺めたら、いささか「違和感」がありました。
何故なら、「労山カレンダー」は、月曜日始まり、使い慣れた市町村などのカレンダーは、日曜日始まりだからです。今回、短期間で少人数のご意見ですが、要改善・改善不要は半々の印象です。
私も労山会員になって、５０年近くなりますが、この件で議論された記憶がありません。
「会員で作られる労山カレンダー」が、会員の意見・希望があまり反映されず、作られているのは意外といえば、意外でした。
現状が良し悪しは別にして、「会員が分かり易い、違和感がない、納得する」カレンダー作りが本来の姿ではないだろうかと思った次第です。

以上

静岡県勤労者山岳連盟

安全登山講習会

と　き　　２０２３年7月2日（日）

時　間　　１３：００開場　１３：２０開始　１５：３０終了

場　所　　長田生涯学習センター

（静岡市駿河区寺田１３１－１　℡０５４－２５７－０７８０　駐車場有）

定　員　　８０名

テーマ　「実例から学ぶ
山のケガと病気の対処」

講　師　　野口　いづみ氏

講師プロフィール

横浜市出身、東京都在住。都立武蔵高校と東京医科歯科大学で山岳部に所属。著書に「山の病気とケガ」（山と渓谷社）、「山登りトラブル回避＆対処マニュアル」（大泉書店）など。山の医療の講演会や執筆を行っている。一般登山のほか、夏は沢登り、積雪期は山スキーを楽しむ。国内は100名山を登って、300名山を夢見ている。海外はワスカラン、玉珠峰、マッターホルン、モンブラン、エルブルース、キリマンジャロなど約30座登頂。日本登山医学会の山岳認定医、日本山岳会東京多摩支部の支部長、日本山岳文化学会幹事など。

担　当　教育遭対部　後藤秀人　090-2774-9882

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・写真　後藤
山行番.	NO.2016
日　時	2023 年 04 月 22 日（土）晴
山　域	飛騨・乗鞍岳（3026m）
コース	三本滝発 5:00 ー第一壁上 6:05 ー位ヶ原下壁 7:11 ー位ヶ原ートイレ 8:30 ー肩の小屋 9:27 ー滑降ー三本滝 11:14
標高差	上・下り　三本滝約 1810m～肩の小屋 2778m＝約 968m
難易度	非常に困難　困難　やや困難　レ普通　やや易しい　易しい
雪はまだまだ硬かった	
参加者	後藤、加藤＝2 名

早朝、明るくなった三本滝発。雪はやや少ない。カチカチの三本滝ゲレンデにスキーを背負ってアイゼンで上る。ここは一昨年も歩きだった。傾斜が強く、雪が少ないので、歩きのほうが楽だ。

早朝は霧だったが、太陽が上ると、一面の雲海だった。ツボ足の女性に抜かされた。聞けば、摩利支天岳に雷鳥を撮りに行くといった。この方には、結局、下りでも抜かされた。

三本滝ゲレンデ

雷鳥は、撮影出来なかったそうだ。

怪我後、本格的山岳スキーは初めてだった。背負ったスキーが重く、完全でない首に負担だった。最初の壁からシールで上る。雪は硬いので歩き易い。

位ヶ原下の急斜面を上ると下から何人か上って来た。一人の若い衆に抜かされた。下山時、再びお会いしたが、松本の方だった。我々は、肩の小屋までだが、彼は、山頂まで行って来たといった。若いか方は元気がイイ。

壁を抜けて、位ヶ原を進む。いつも寒風が強いが、今回は、温かい風だった。後ろから、若い衆が３名やって来た。驚いたことに２名は、「半そで」だった。曰く、「俺らは、代謝がイイから暑い」だった。

位ヶ原

スプリット・ボード

「半ソデ」若い衆

板はスキーと思ったら、スプリット・ボード（板が二つに分かれて、スキーのように歩けれるもの）だった。このスプリットは、会友のW君も持っている。2001 年 4 月、蓮華温泉にテン泊し、北アルプス・朝日岳に行ったが、いいスキーだった。

１名が盛んに写真を撮っていた。カメラは、「ハッセル・ブラッド」だった。こんな重いカメラを持参とは、相当こだわりがあるのだろう。そもそも、このカメラは、超高価だ。若い衆が、こんなカメラを使っているのは驚きだった。

左には雄大な乗鞍岳。若者は山頂に直登のようだ。彼らは、次第に遠ざかって行った。

右手に雪のブロックが見えた。位ヶ原の除雪だった。昨年、5 月 19 日に上った時もやっていた。もうじき夏山。除雪は急ピッチで進む。振り返れば、下界は、依然として雄大な雲海だった。

今年の除雪

2022/05/19 の除雪

肩の小屋

トイレ兼シェルター

更に進む。前方にバス停のトイレが見えた。昨年と約 1 ヶ月違う。雪はそれなりに少なかったが、大幅な違いはなかった。

少し休憩して肩の小屋に向かう。多くの登山者は山頂に向かっているが、我々に、そんな元気はなかった。ようやく肩の小屋着。以前なかった、トイレを兼ねたシェルターがあった。空腹を感じたので、ここで食事。依然として天気は良かった。ただ、気温が低く、雪はカリカリ。滑りは、期待できない。滑降に入る。案の定、カリカリで快適な滑降とはいえなかった。

雪の状態は難しい。2 日前の 20 日は、サイコーの「ザラメ」（雪が大きな結晶に変化し程よい状態になること）との記録があった。雪は、毎日毎日変化する。それでも、下部はマアマア良くなって来た。上部の壁を下って、ツアーコースに入る。今回は、怪我後、本格的な山岳スキーは最初。疲れで脚が萎えてしまい、スキーが思うようにならない。脚の筋力が落ちると危険でもある。初心者の頃、そうだった。

Ｋの滑降

ストック代わりの棒

　ツアーコースを下る中で、何人かの方に会った。変な棒を持っている方に会った。ストックの代わりに棒を使って上り滑降する。実は、このような方に会ったのは初めてでなかった。以前、やはり乗鞍岳で見たことがある。同じ仲間かも知れない。

　しかし、一体こんなストックで本当に滑れるのか？？本来のストックは両手に持ち、リングもあるので潜らない。この棒は、両手に持てないし、リングがないので、潜ってしまう。以前見た方も苦労していた。・・・・だけど、そうまでしても、やりたいのかな？？

(;´д`)

往路、上の壁で抜かれ山頂から滑って来た、松本の若い衆に追い着かれた。被っていた、ヘルメットは、「ゴロー社製」のものでなかなか良かった。耳までカバーされ、ヘッドランプも装着できる優れものだった。彼は以前、裾野市に在住だったといった。

山岳スキー仲間に精通していて、富山のH氏の骨折事故を聞いた。ヘリで搬送されたという。あれ程の方でも事故はあるのかと思った。最もスキーをやっていれば、３回は骨折するという。恐らく、リスクを考えていたら「上手くならない」ということだろう。

最後の壁は、雪が少なく、グズグズで怪我が怖く歩いて下った。最後のゲレンデも歩きだった。雪が少ないので仕方がない。下り切って、山に向かい感謝の「合掌」。駐車場で空腹と喉を潤す。残雪で冷やした beer がサイコーだった！！

ゴローのヘルメット

三本滝ゲレンデ

雪渓 beer

美味しいインスタント・ラーメン

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・井上　写真・後藤
山行番.	NO.2017（春山合宿）
日　時	2023 年 05 月 03 日（水）無風・快晴・高温
山　域	頚城（くびき）山塊・権現岳（1104m）～鉾ヶ岳（1316m）棚口（ませぐち）コース
コース	5/2（火）長泉 7:00-道の駅ハイジの里 10：00-青鬼集落付近で昼食 12:00-鉾ヶ岳と権現岳の登山口下見 14:00-ゲストハウス「山楽」到着 15:00-温泉「権現荘」-宿チェックイン 16:00 5/3（水）起床 4:00-宿出発 5:00-宿へ軽トラ返し、井上スタート 5:10-先行の二人に合流 5:55-権現岳頂上 8:11-鉾ヶ岳 10:27（昼休憩）～下山開始 10:51-大沢峠分岐 11:12-溝尾ルート登り口 14:18-駐車場 14;22-神城・民宿「水車小屋」-道の駅「ぽかぽかランド美馬」温泉-宿にて山田さんと合流
標高差	上り　柵口約 194m～権現岳 1104m～鉾ヶ岳 1316m＝累計約 1122m 下り　鉾ヶ岳 1316m～溝尾駐車場約 415m＝約 901m
データ	長泉町～神城・水車小屋=約 450km、有料道路料金=5880 円、燃料＝4900 円
難易度	非常に困難　レ困難（残雪期）　やや困難　普通　やや易しい　易しい
二度と登りたくない山リスト第 1 号	
参加者	後藤、加藤、井上＝3 名

5 月 2 日、加藤さんの車で長泉を出発。山田さんは 2 か月の「山断ち」を終了し、明日移動で明後日の唐松岳に参加することになっている。

道の駅ハイジの里で食料品の買い物。白馬・青鬼（あおに）集落付近の車で少し上ったところの棚田の跡らしきところで、遠く白馬連峰を眺めながら昼ご飯を摂った。糸魚川から北陸道を能生（のう）IC で下りる。

白馬三山

昼食

鉾ヶ岳のゴール地点の下見をする。島道鉱泉から入り、ゴルフ場を経由して溝尾コース登山道入り口を確認した。この上に駐車場があるはず。ここで我々がすばらしい何かを大量に採取したかは記録には残せない。さらに一度里に戻り、今回の登り口である柵口（ま

西から仰ぐ鉾ヶ岳（左の稜線を下山、出っ張りは金冠山）

せぐち）側の権現岳登山口へ向かう。途中右手に落差 60m と思しき白滝が見えた。滝の水は途中で霧散していた。

ゲストハウス「山楽」に到着するも、チェックインは 16 時とのことでご主人が不在のため、中にいたお手伝いの女性から近くの温泉・権現荘（700 円だったような）を教えてもらい、先に入浴となった。

宿にチェックインし、宿主人の施設のオリエンテーションがあった。基本風呂無しで、近所の温泉を利用。キッチンは使用可能で、電子レンジあり。食器は使ってよい。カセットコンロはあるがガスボンベは個人準備。湯沸かし電気ポットあり。

リビングにはたくさんの炬燵と薪ストーブ。各所に多くの楽器がある。ここでライブを開いているようだ。部屋は 12 畳で、ほかの部屋も空いているので、500 円追加して加藤さんは別室とした。

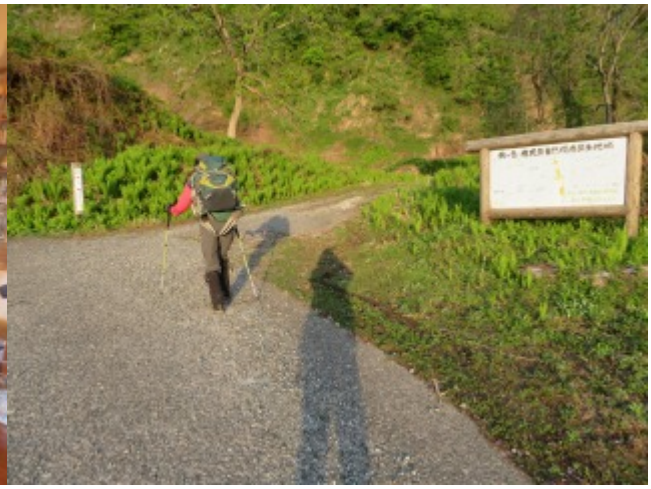
宿主人と登山口までの送迎について相談。いろんなパターンと実施時刻を検討した結果、今から宿の軽トラで並走してもらい私たちの車を、鉾ヶ岳の下りゴールとなる溝尾コース登山口駐車場にデポする。

明日の朝は、また軽トラを借りて、私が運転し、後藤さんと加藤さんを権現岳登山口に送り、私は軽トラを宿の戻し、空身で二人に追いつくという作戦。このため、一人 500 円プラスで支払う。ちなみに宿泊代は通常素泊まり 3500 円だが、連休料金の 4300 円で 4000 円になり、結果一人 4500 円。

権現荘

山楽

リビング



登山口

リビングで各自が持参した夕食を取る。夕方は寒い。隣で薪ストーブを炊こうと若い人が頑張っているがなかなか点かず、煙が部屋を充満し始めた。そのため窓を開けたので寒い。宿の主人が戻ってきてバトンタッチし、それでも悪戦苦闘しながら点火し部屋が暖まったが、そのころには食事は終わっていた。

このご主人は 47 歳で、7 年前に埼玉から家族で移住し、不自由な場所でも生きていけることを目指しているそうだ。冬は 3m の雪が積もるので大変らしい。地元の人に教えを請いながらやっているそうだ。

今年小学校に入ったばかりの 6 歳の娘さんと 4 歳のかわいい息子さんが私たちの周りによってきて一緒に遊んだ。小学校は 1，2 年が一クラスで数人しかいないそうだ。夜はカエルの鳴き声しか聞こえない。外は明かりが少なく、星がキレイだ。

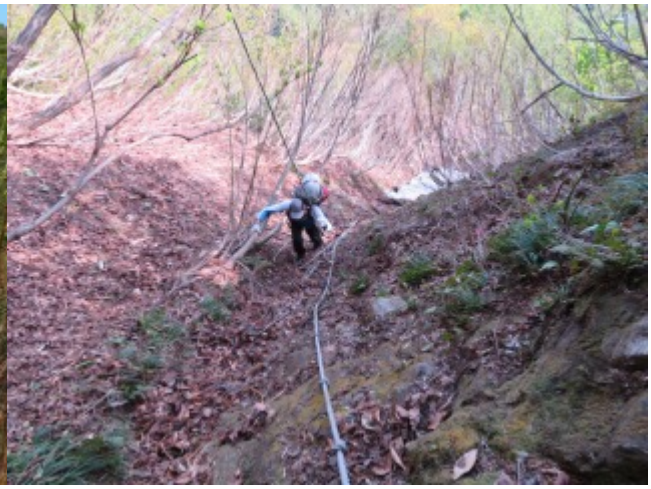
翌 5 月 3 日。宿の軽トラを借り、後藤さんと加藤さんを権現岳登り口まで送る予定だったが、もっと手前で 2 人をおろして軽トラを返すことになった。登り口まで行けば標高で 150m 稼げたが、70m 分しか稼がなかった。

私の荷物をデポするはずだったが、後藤さんと加藤さんで私のザックも持って出発した。私は軽トラを宿に返しに戻り、空身で宿から再スタート。権現岳登り口でもまだ追いつかない。昨日見た白滝が大きな落差で流れ落ちる。

白滝

すぐ残雪

下山の金冠山



早くもヤバい

標高 406m 地点、260m 登った地点で先行する 2 人と合流した。後藤さんが私のザックを背負い、加藤さんが自分と後藤さんの 2 人分のザックを背負っていた。登り口から急登なので、荷物が重いとかなりきつかったと思う。

カタクリが群生しているが、朝は花が閉じてしおらしく下を向いている。太陽が昇り、気温が上がると花弁が 180 度反対にひっくり返り花も顔を持ち上げるそうだ。

急登のままにガレ場あり、残雪あり、藪ありと、標高は低いのに超アドベンチャーコースだ。ロープ、鎖、岩の連続。「なんじゃあこりゃあ」（TV によく出る登山家の中島健郎の口癖が思わず声にでる）。

「天狗屋敷」には白骨化した巨大木があり、その後ろに小さな祠があった。大岩が重なり合ってトンネルになった「胎内洞」潜りに、左右両側が大岩で狭くなった「挟み岩」。どちらも狭い空間はザックを背負ったままでは通過できず、背から下し、引っ張り上げた。記憶では、最初から最後までずっとロープが下がっていた気がする。

ずっと垂直の壁に両手を使って上っていた。ずっとロープをつかんで体を持ち上げていた。いつまでもロープは終わらない。登り口で見上げた絶壁は、迂回路などなく、見たままに上へと登って行った。

権現岳頂上到着。標高 1104m 。頂上は鉄塔があった。妙高や火打がきれいに見えた記憶はかすかにあるが、ロープや鎖場がやっと終わったという安堵しか残っていない。

胎内岩

白山権現

権現岳

盟主・妙高山

本石楠花

鉾ヶ岳

トッケ峰

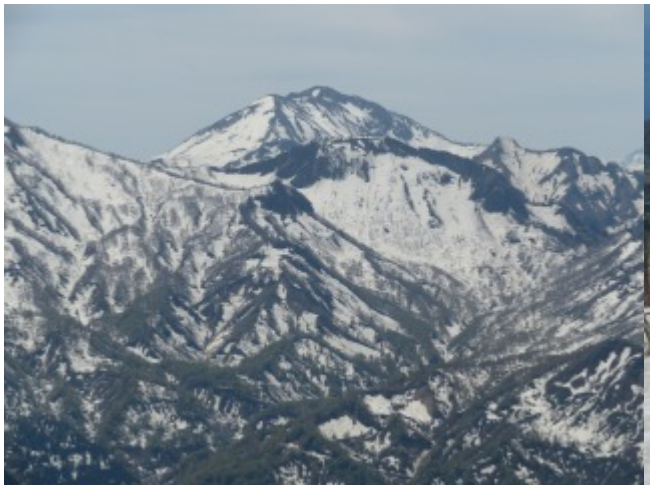
鉾ヶ岳に向かう

これから向かう鉾ヶ岳が残雪でまだらに見える。痩せ尾根を歩く。確か気持ちいい道だったと思うが、権現までの苦行と、この後の鉾ヶ岳からの下りの苦行のために楽しかった記憶が飛んでしまっている。

鉾ヶ岳手前のピーク「突鶏（とっけ）峰」標高 1280m でアイゼンをつける。雪はざらざらして、滑らないが崩れやすい。今回、私は初めて夏用の革靴に 1 本縛りアイゼンをつけてみる実験を試みた。冬用の靴と違い、革が柔らかいので雪の上はよいが、雪がなくなり土や石ころの道になるとアイゼンがふにゃふにゃと固定されず歩きにくかった。

鉾ヶ岳小屋

山頂



火打山

溝尾コースを下る

溝尾上部

2009/05/05　溝尾コース上部（村上・石和・中村）

実験は失敗だった。ルートがわかりにくい。やがて避難小屋のある鉾ヶ岳に登頂。権現岳では見えなかった白馬連峰まで見えた。後藤さんは疲れのため固形物が食べられなかった。私はいつものカップヌードルを食べた。後藤さんのあっさりカップヌードルの残りも腹に収めた。

下山を開始。残雪を下る。大沢峠分岐では島道コースが通行止めとなっていた。歩く尾根の先に大きな岩（金冠（きんかむり）山）がそびえたっている。頂上から最下部までロープが下がっている。

2 万 5000 図でピークがないのでおそらく 10m 以内か。後でネットを見ると、地元では「鉾ヶ岳のジャンヌダルム」と呼ばれているようだ。あれには登りたくないなあ、きっと回り込んでいく道があるだろうと希望的観測で近づいたが、ロープを登るしかなかった。

ロープで登り、ロープで下った。ちょっとした岩の突起に足をかけ、突起がなければ靴底の摩擦を信じて足を置く。天気がよいので岩が乾いていて助かる。濡れていたら危険だ（というか下ることができないのではないか）。

その後は、残雪の雪渓と、石ころの道が交互に繰り返し現れるので、アイゼンを外すことができない。今日は、登山開始から最後まで、道のわきには花が乱れ咲いていたが、心に花を愛でる余裕はなかった。

持って行った水も尽き、口が乾く。早く駐車場に戻りたいのになかなか着かない。後藤さん、「二度と行きたくない山のコーナーをホームページに作ろう。この山が第 1 号だ。」と言う。そのとおり。

加藤さん、「山田さんが行きたいって言ったら、井上さんが連れて行ってね。」と言うが、もう来ないだろう。カタクリの花びらは反対側に開き、群生していた。

●地元山岳ガイドのホームページにも「二度と来たくないと思った過酷な山」という後藤さんの言葉と同じ表現を見つけた。

●この日、山では他の誰とも会わなかった。

●ゲストハウス「山楽」主人によると、権現岳・棚口コースは、修験道の山らしい。地元の小学生は権現岳に登るが直登ではない、地元一般コースがある。

以上

その他の記述（後藤）

１．鉾ヶ岳は、棚口・溝尾・吹原・島道の４コースと、地元一般コースが、権現とトッケのコルにある。一般コースは、標高 625mまで車が入るので小学生でも上れる。

２．私は前回、2009/05/05 島道コースから上ったが、棚口ほど厳しくなかった。ただ、現在は通行止めになっている。溝尾コースは下りが厳しいので、西の吹原コースが良い。

３．残雪期の棚口～溝尾コースは、厳しいので記録が少ない。帰って暫く腕が筋肉痛だった。昔の記録で金冠山に鉄梯子があった。現在は、ロープが延々と続く。

４．溝尾コースは、金冠山を下り、標高約 1000mで山腹をトラバースしながら下るが、ここは残雪の重みで樹木が登山道を塞ぎ最悪だった。帰着後、GPS を見たら、標高点・875mを経由する尾根道があった。下るなら尾根コースが良い。

５．様々な花は素晴らしい。特に「本（ほん）石楠花」は、北限といわれ一見の価値がある。

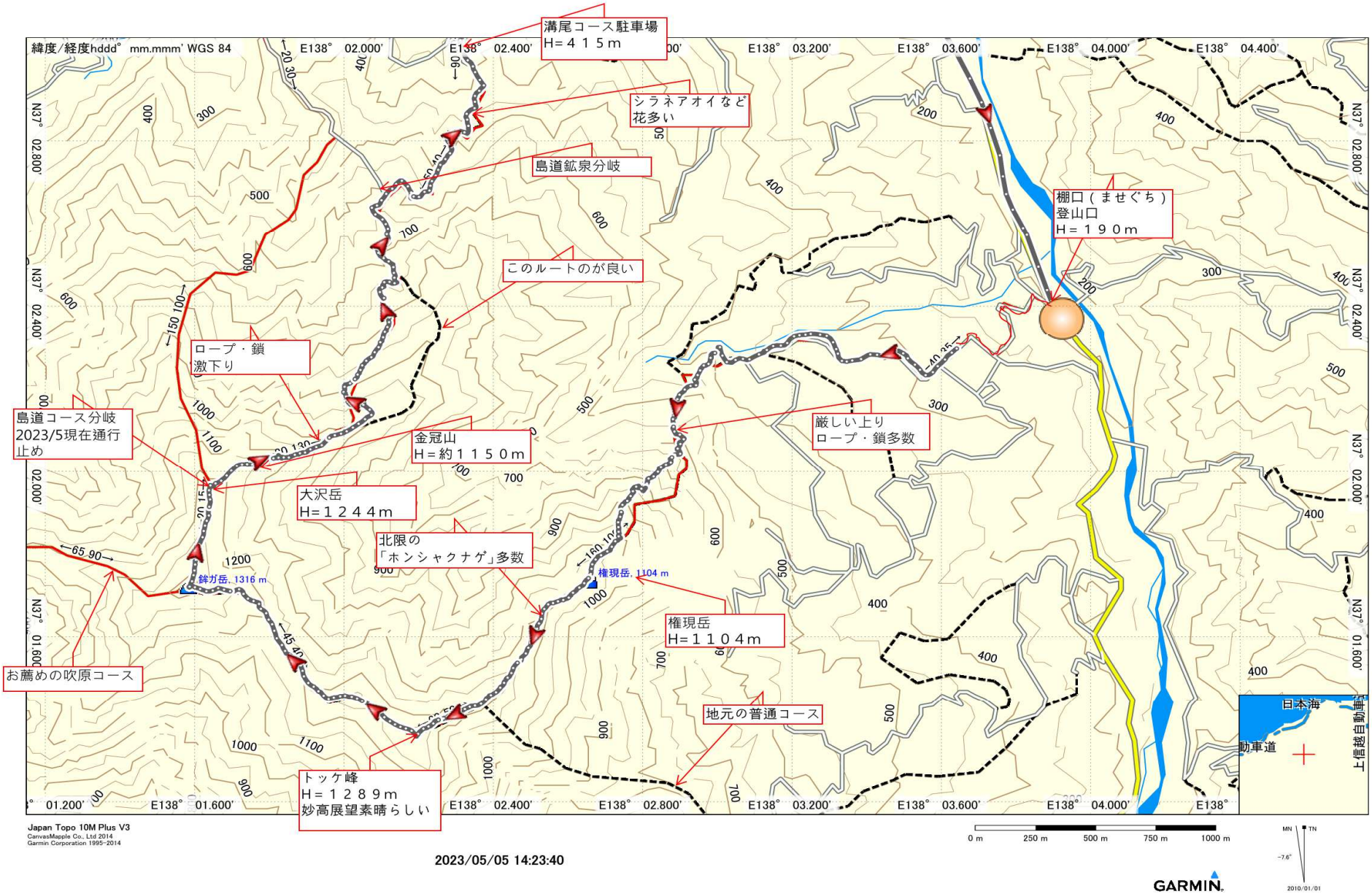
６．棚口集落は、「山菜」の全盛期。集落は、入山料 1500 円。採り放題で山を開放している。「山楽」のオーナーは、受付を担っていた。Wは、とても美味しかった。

７．棚口地区は、「天然ガス」が噴出し家庭で「タダ」使用しているという。因みに「水道」も「タダ」という。「権現荘」「島道温泉」も、タダのガスで加熱しているという。

８．翌日、八方尾根予定だったが、腕の使い過ぎか過労か、怪我の首が痛く、結局断念した。

紅白の岩鏡（イワカガミ）

写真・加藤


溝尾コース駐車場
H＝４１５ｍ
シラネアオイなど
花多い
島道鉱泉分岐
棚口（ませぐち）
登山口
H＝１９０ｍ
このルートのが良い
ロープ・鎖
激下り
島道コース分岐
2023/5現在通行
止め
金冠山
H＝約１１５０ｍ
大沢岳
H＝１２４４ｍ
北限の
「ホンシャクナゲ」多数
厳しい上り
ロープ・鎖多数
権現岳
H＝１１０４ｍ
お薦めの吹原コース
地元の普通コース
トッケ峰
H＝１２８９ｍ
妙高展望素晴らしい
鉢ガ岳, 1316 m
権現岳, 1104 m
緯度/経度hddd° mm.mmm' WGS 84
日本海
動車道
上信越自動車道
Japan Topo 10M Plus V3
CanvasMapple Co., Ltd 2014
Garmin Corporation 1995-2014
2023/05/05 14:23:40
0 m
250 m
500 m
750 m
1000 m
GARMIN

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・写真　山田敬
山行番.	NO. 2018
日　時	2023 年 5 月 4 日（木）　無風・快晴・高温
山　域	唐松岳（最高到達点２６９６ｍ）
コース	5 月 3 日　白馬村「水車小屋」宿泊 5 月 4 日　八方駅ロープウェイ登山口 8：00―八方池山荘 8：40－唐松岳 12：10―八方池山荘 15：00－八方駅ロープウェイ登山口 15：40－みみずくの湯 17：00－帰宅 21：30
標高差	上り・下り　唐松岳 2696m　累計標高差＝991m
データ	三島～神城（水車小屋）＝287km　有料（大月経由）＝3060 円(軽車両)
難易度	非常に困難　困難　やや困難　レ普通　やや易しい　易しい
北アルプスは山の宝石箱や～	
参加者	井上、山田＝２名

今回はゴールデンウィークの連休を利用して普段より足を伸ばした場所である白馬の唐松岳に。個人的には 2 ヶ月ぶりの山の会の参加で体力的に耐えられるか心配だったが、1 泊 2 日の余裕のある行程だったので旅行気分。

5 月 3 日から自分の車で白馬まで約 4 時間で移動。他の G さん、K さん、I さんは 5 月 2 日から行動しており、宿泊予定先で合流。宿泊先は「水車小屋」という名前なので、勝手に山小屋のイメージを持っていたが、自炊器具や寝具もきちんと用意されて、快適な宿泊施設だった。

神城・水車小屋

5 月 2 日の山行が激しかったということで G さん、K さんは翌日の山行は回避、唐松岳は I さんと私の 2 名で行くことになった。

翌日、5 月 3 日 6 時 30 分には宿を出発して、白馬八方尾根スキー場のゴンドラ搭乗口の

駐車場に 7 時前に到着。7 時にはすでに 20 名ほどの行列。
　ゴンドラとその先にあるリフトにも乗っていくので、往復 3200 円。開門となる 7 時 45 分には 100 名近くは並んでいた。
　並んだ順に終点まで乗り、八方池山荘駅に到着。天候は雲ひとつない快晴 。普段このあたりは強い風が吹くことも多いらしいが、ほぼ無風。日差しも強く、歩き出すと、すぐに暑い。
　冬の服装も持ってきたが、K さんのアドバイスどおり今日は軽装で正解だった。

ゴンドラ乗場口

　観光としてリフトで上ってくる人たちはこの八方池くらいまで歩いてくるのかもしれない。確かに階段も一部整備されている。しかし八方池山荘から八方池まではガレ場が続き、決して歩きやすいところではない印象だった。
　八方池から 20 分ほど進んだところで雪面の登りが現れたので、ここでアイゼンを装着。この後、雪面の登りと雪溶けした土と岩場の斜面が交互に現れる。
　アイゼンをつけたまま雪のない岩場をガチャガチャ登るのは心地よくはない。しかし、景観がそんなことを忘れさせるくらい素晴らしい。北アルプスを登るのは初めて。これまで登った山と比べて、1 つ 1 つの山のスケールが大きい。北アルプスの森林限界は標高 2500 m前後で、森林限界を超えた上部の世界では、風や雪などによる侵食作用が常に働いていて、こうした侵食作用によって山は崩壊を続け、険しい地形をつくりあげたそうだ。近くで切り立つのは白馬岳だ。下を見下ろすと、渓谷が深い。落ちたら終わりだなと思うと、より迫力を感じる。
標高も 2300mになり雪面の登りが多くなる。丸山ケルンを通過して。唐松山荘に到着。
　リフトを降りてからここまで約 3 時間。剱岳が真正面に見えて、素晴らしい景観。秀麗な山容と峻険な稜線が目の前から何層にも複雑に折り重なって広がっており、いつまでも見ていても見飽きない。

景色もいいので、ここでお昼を食べている人も多くいた。めざす唐松岳まであと 30 分。唐松岳までの稜線が見えている。

八方山

唐松岳（左上の雪形が鳳凰に見える？？）

I さんと話し合って、あとひと頑張りして、お昼は唐松岳で食べるか、山頂まで行ってここに戻ってから食べるかにしましょうと決めて、再スタート。

12 時 9 分唐松岳到着。山頂は広くないが、360 度のビューがすばらしい。

座るスペースがあったので、山頂で食事をしながら、道中、我々とほぼ同じペースで歩いてきた人たちと話したら、ゴールデンウィークの期間を活かして、北アルプスの山々を

天候と自分の体調を考えて自由に登っている人や、唐松岳から五竜岳に縦走する人など、いろいろ。住んでいる地域も全国様々で、さすが人気の北アルプス、みんな連休を使って楽しみに来ているんだなと思った。

中央が剣岳

井上

食事をとって一息ついて 12 時 35 分、下山開始。リフトの終了時間は 16 時なので、ペースをあげて降る。

アイゼンは下山途中で外れたついでにはずしてしまった。しかし、道中の雪は気温上昇

もあって、シャーベット状になっており、下りの雪面を降りるときはやはりアイゼンがあったほうが滑らず、スムーズにおりることができたと思う。

15 時 00 分すぎに八方池山荘到着。トータル標高差は 1000 メートルもなかったが、雪面をアイゼンで歩いたりしたので、足も疲れてガックガク。久々の登山にはちょうどいい難易度だった。

今回は１泊２日で帰りの移動後、翌日も休めたので、ゆとりを持って移動や準備ができ、行程も楽しめた。白馬まで来れば夏は涼しそうだし、八方尾根は紅葉もすばらしいようだ。

アルプスの魅力も知ってしまったので、また 2, 3 日休みをとって行ってみたいと思った。

唐松岳山頂・山田

その他の記述（後藤）

１．水車小屋の主人は柏原孝至さん。私と同い年だった。しかも、２０１４年「神城断層大地震」で脛骨骨折の大怪我をした。何か境遇？が似て、意気投合してしまった。
怪我は、後遺症も残るが、現在は野良仕事を出来るほど回復した。入院・リハは大変だったが、「よく生きていた」と感慨深げ。
白馬三山を仰ぐ居間に立派な仏壇があった。お母さんに尋ねたら、三年前に長男のお嫁さんを病気で亡くしたという。
隣の大町で保母さんをしていたという。子供さんは三人。現在、一番下の孫と同居。お母さんは、「これから、いろいろ教えたかったのに・・・」と言葉少なげだった。最近、ようやく「前を向けるようになった」と話していた。
僭越だが、お経を上げさせて貰った。人生は分からない。ベストに生きよう。

２．前夜は、ＩとＹの「いびき・ランド」に参った。延々と続く轟音。同部屋を後悔した。昔、涸沢テン場、シャモニ・ロジェールキャンプ場でも、いびきにクレームを言われたことがある。「巨体・飲酒」は、いびきの元凶である。

左・孝至さん

美人のお母さん

居間から白馬三山（白馬、杓子、白馬鑓）

写真報告　　05/12　　西丹沢・檜洞丸　　後藤・加藤

シロヤシオ満開

山行報告 NO.2020　　05/18（木）快晴　　天城・万三郎岳（1405m）
ゴルフ場～万三郎岳～トラ道　　後藤・加藤・伊藤・勝又・合谷・星＝6 名

天城山の万三郎岳にシャクナゲの花の観賞が今回の山行の目的です。私の今回の山行は前回の石割山の会山行から二か月半近くたっており、前回は雪のちらつく天気で今回は快晴、無風で気温が高い真逆の天候で身体が持つか心配になりました。

天城高原ゴルフ場の登山者用駐車場で本日のコースをどうするか意見交換をし、周回コースのシャクナゲコースは不評なため万三郎岳をピストンすることにしました。

7：45　駐車場を出発し四辻に向かう。四辻から万二郎岳に向かうが、気温が高く無風状態のため汗がダラダラと落ちてくる。樹林帯のため直接には日がささないため少しは楽だが、熱中症対策のためにこまめに水分補給をしながら登って行く。

万二郎岳・展望台

９：02　万二郎岳に到着。東伊豆町方面の写真撮影のあと稜線のアセビのトンネルをぬけ 150mほど登りかえして 10：37　万三郎岳着。

かんじんなシャクナゲは 1200mを越えないときれいに花の咲いた木が現れない。ピンクや白の花を見ながら 100mほど過ぎたすぎたところで昼食をとることに。登りの途中から虫がまとわりついてうっとうしかったが食事中もブンブンとうるさい（帰りの途中に会ったかたも虫がうっとうしくて上で食事をしないでおりて来たと話していました）

昼食をとりながら下山のルートの話になり、地図で確認して等高線のつまっていないアセビルートの途中からバリエーションルートをとることになった。

万三郎に引き返し記念写真を撮ってアセビルートの馬の背と石楠立の中間あたりから入り赤テープや印に従って下って行くが、このコースは思っていた以上に傾斜が緩く、段差もなくなだらかで歩きやすく無理なく下のトラバースコースまで降りることができた。途中シャクナゲの群生がいくつもあり思いがけなく万三郎岳頂上周辺よりも綺麗な花をかんしょうできました。

トラバース道から四辻を通り出発点の駐車場に 13：30 に到着。帰りはいつもの様に大仁のわたしの大学の同級生の宿「一二三荘」の温泉につかり生ビールを飲んで疲れをいやし帰路に着きました。皆さんお疲れ様でした.

アサギマダラ

万三郎岳山頂

下山

日本勤労者山岳連盟
静岡県勤労者山岳連盟・東部ブロック
長泉裾野・麗峰山の会（愛称・れいほう）

会報「れいほう」
2023/05/25
第 29 期・03 巻　　2023/6 月号　　NO.262
連絡先 静岡県駿東郡長泉町下土狩 1541-12 徳山荘
090-8956-9990 055-986-6075

HP　http://susono-reihou.babyblue.jp/
Mail　takanori_reihou8888@yahoo.co.jp

2023/05/18　　天城・万三郎岳の「アサギマダラ」